

荻窪ユース・アンサンブル(OYE)は、これまでに荻窪音楽祭のフレッシュジュニア・コンサート(FJC)に出演したことがある子供達を中心にプロの演奏家のサポートを得て編成された合奏団です。

サポートメンバー プロフィル



©小谷野葉月

後藤 悠仁

(指揮・指導)

東京藝術大学を経て、1986年同大学院を修了。1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団。2009年までヴィオラの首席奏者を務める。1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。2001年東京オペラシティを皮切りに、トップホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任するとともに、ソロ活動を本格的に開始。ヴィオラ奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動している。ヴィオラを中塚良昭、故ウルリッヒ・コッホ、室内楽を故黒沼俊夫、原田幸一郎、故ゲルハルト・ボッセの各氏に師事。指揮を広上淳一氏に師事。現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。



尾池 亜美

(ヴァイオリン・指導)

ソリスト、室内楽奏者として東京を拠点に活動中のヴァイオリニスト。クラシックのレパートリーのみならず新しい音楽が生まれる現場にも精力的に闘う。宇多田ヒカル、米津玄師、高橋悠治らの作品制作や演奏に携わる。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール、日本音楽コンクール、RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクールにて優勝。カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位他、国内外で受賞。東京藝術大学音楽学部講師として後進の指導に当たる。紀尾井ホール室内管弦楽団、アミティ・カルテット、Ensemble FOVEメンバー。3才より叔母山下真澄の手ほどきによりヴァイオリンを始める。父の転勤に伴いスイスに2年間在住、ハビブ=カヤレイ氏に師事。帰国後、石井志都子氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属高校を経て、同大学を卒業後、渡欧。ローム・ミュージック・ファンデーション、明治安田クリオティ・オブ・ライフ奨学生としてスイス、イギリス、オーストリアにて研鑽を積む。これまでに澤和樹、ジェラール・ブーレ、オレグ・クリサ、ピエール・アモイヤル、ヤイル・クレスの各氏に師事。www.amioike.art

岩根 愛

(ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科を卒業し、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマコースを経て、ハンガリーハー留学。国立リスト音楽院パートタイムスクール修了。帰国後は2012年よりピアノとの室内楽作品を中心に、リサイタルを定期的に開催。2015年に荻窪の城西病院ホスピタリティコンサート、2018年に荻窪音楽祭第7回春の交流コンサートに出演。2020年には荻窪祝祭管弦楽団第9回定期演奏会にて、ソリストとしてシベリウスのヴァイオリン協奏曲を演奏した。2017年よりOYEのサポートプレイヤーとして子供たちを指導、一緒に演奏を披露している。これまでに上西玲子、和波孝喜、土屋美寧子、カバーシュ・ゲーザの各氏に師事。



対馬 佳祐

(ヴァイオリン)

東京藝術大学を経てパリ国立高等音楽院ヴァイオリン科を首席で卒業。同音楽院修士課程室内楽科修了。第8回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。2010年フランス・バッハ国際音楽コンクール第1位。2014年リヨン国際室内楽コンクール・デュオ部門にて最優秀賞受賞。2016年ルーマニア国際音楽コンクールにてグランプリ(全部門最優秀賞)受賞。Music Dialogue デュオ・プロジェクトにて最優秀賞。月見の里室内楽アカデミー講師。ヴァイオリンを玉井菜穂、田中千香士、ジェラール・ブーレ、ボリス・ガルリツキー、室内楽を上田晴子の各氏に師事。ヴィルヌーフ・クワルテットメンバー。CD『ペートーヴェン 弦楽四重奏曲第13番&大フーガ』『東京オペラシティ・ライブ』発売中。

松本 克巳

(ヴァイオリン)

山口県宇部市生まれ。大阪府立池田高等学校卒業。関西学院大学理学部遺伝子学専攻。卒業後、高校の理科教師を経て1980年日本フィルハーモニー交響楽団に入団、第1ヴァイオリン奏者を務める。入団以来意欲的に行っていソロや室内楽の演奏活動は年数十回におよび、コンサートホールだけに留まらない裾野の広い丹念な演奏活動は高く評価されている。洋楽器と邦楽器を組み合わせた珍しい演奏会も各地で行い、好評を博す。2000年、日本フィル在籍20年という節目を機にカザルスホールにてリサイタルを開催、その後は東京文化会館、横浜みなとみらいホール、白寿ホールにてリサイタルを行い、好評を得る。故横山莞五、石井啓一郎各氏に師事。現在は日本フィル「音楽の森」スタッフ。



青木 紀子

(ヴィオラ)

4歳よりヴァイオリン、19歳よりヴィオラを始める。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門第3位及び優秀賞。スイスアカデミードゥムュージック、ベルン音楽院マスタークラス受講。パブロ・カザルス音楽祭に参加。京都国際音楽学生フェスティバルにソロ、室内楽で出演。他にも、数々の国内外の音楽祭に参加。ブルー・パスキエ、白尾偕子、江戸純子の各氏に師事。室内楽をH.ピュイグ・ロジェ氏に師事。桐朋学園芸術短期大学委託演奏員、和波孝喜氏率いるいづみごうフェスティバルオーケストラメンバーなどフリー奏者として活動している。

和泉 景子

(チェロ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。

第6回泉の森ジュニアチェロコンクール銅賞。京都フランスアカデミー、霧島国際音楽祭、クールシュペール夏期国際アカデミー、リスト音楽院セミナー等に参加し、マスタークラスを受講。トリトン・アーツ・ネットワーク主催アドヴェントセミナー、室内楽アウトリーチセミナーを受講。

現在はオーケストラ、室内楽等の演奏会へ出演する他、後進の指導を行う。これまでにチェロを渋谷陽子、高橋純子、宮城健、山崎伸子の各氏に師事。



©金瀬輝



©Ayane Shindo

田沢 烈

(コントラバス)

元日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者。日立市生まれ。東京藝術大学卒。今村清一、永島義男氏に師事。藝大在学中に日本フィルに入団。首席奏者を務める。現在、尚美学園大学講師。

36TH OGIKUBO
MUSIC FESTIVAL
荻窪音楽祭
ジョイントコンサート
JOINT CONCERT